

## 湿地の成因

### ■干潟の地下を透過する水

蒲生干潟内で遊歩道に近い所に池のようになった湿地がある（Fig.1 赤丸部分）。チゴガニ、ヤマトオサガニが生息している。ここには、潮が引いたときも干潟の地下を通して水が流れ込んでいることを確認した。Fig.2はFig.1の黄丸の部分であるが、地下を通して矢印の向きに澄んだ水が流れ込んでいた。チゴガニ、ヤマトオサガニは干潟内のごく狭い範囲にしか生息せず、大変貴重な地域である。9月には抱卵したヤマトオサガニをここで確認しており（Fig.3）、今後も残していきたい湿地である。

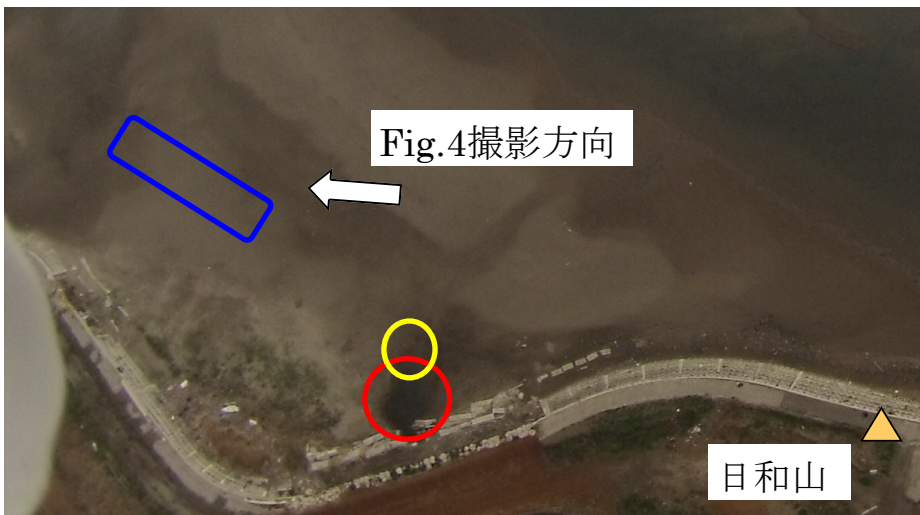


Fig.1 湿地の位置



Fig.2 流入部分

### ■少しずつ広がるヨシ

大きく減少した干潟内のヨシだが、干潟の北部から少しずつ回復の傾向が見られる。Fig.4はFig.1の青囲みの部分を撮影したものであるが、少しずつヨシが広がってきているのが確認できる。希望を持って今後も調査を続けたい。



Fig.3 抱卵した  
ヤマトオサガニ



Fig.4  
ヨシの広がり